

ファーストトーク講座 ケーススタディルール

受講生が試験時にケーススタディ報告書を正しく提出できるよう、担当講師は、授業の際に説明してください。

- 提出日 認定試験当日、受付に提出すること。

- 提出内容
 - ・ 表紙
 - ・ ケーススタディ報告書 No.1 (プログラム用紙計3枚)
 - ・ ケーススタディ報告書 No.2 (参加者プロフィール他)
 - ・ ケーススタディ報告書 No.3 (セラピストの感想他)(※まとめて左上にホッチキス留めをする)

- ルール
 - 《対象者について》
 - ・ 2歳～4歳未満のお子様とそのママを対象とする。
 - ・ 各ケーススタディの参加親子は、3組以上の参加で行う。
(ご兄弟で参加の場合は対象年齢内であっても1組としてカウントする)
 - ・ 家族・ファーストトーク有資格者・受講中の方をケースモデルにするのは不可とする。
 - ・ 参加者は、3回継続の親子でも、入れ替わっても可とする。

 - 《開催回数・日数について》
 - ・ 全3回開催する。
 - ・ 開催の間隔は中5日以上あけ、1ヶ月以内に行うこと。
※家庭でも実践してもらうように促す。

 - 《レッスン内容(テーマ)について》
 - ・ テキストP36「ファーストトーク教室 進行例」を参考に、自由にテーマを決めて、構成を練り、教室の流れを記入する。
 - ・ レッスン内容(テーマ)は毎回同じものでも、違うものでも可とする。
 - ・ 家族をケースモデルとするのは不可とする。

- その他
 - ・ 1回目が試験日より6ヶ月以上前のケーススタディは全て無効とする。
 - ・ 報告書に不備があった場合、試験に合格してもケーススタディを再提出するまでディプロマの発行を見合わせる。